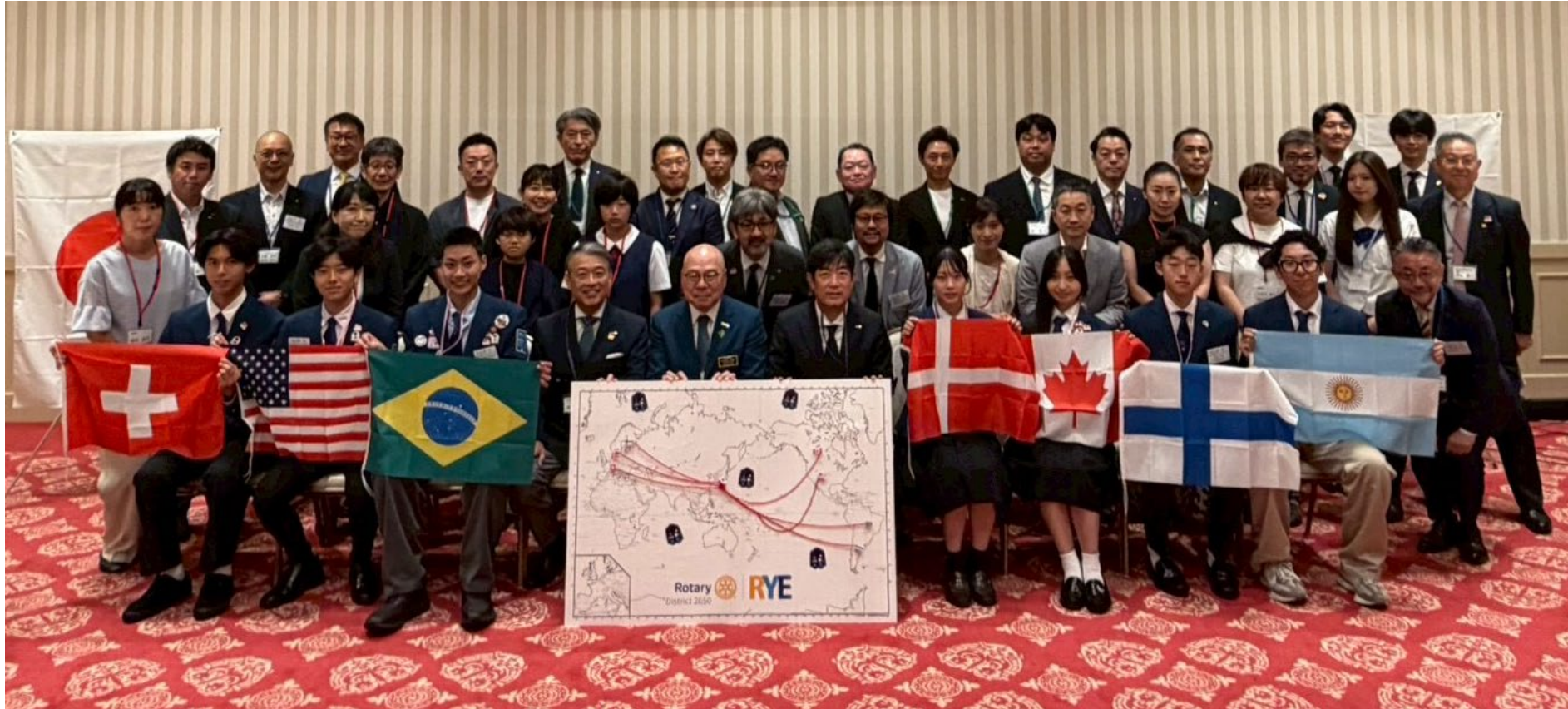


2026年7月12日 地区青少年交換担当委員長会議資料

ロータリー青少年交換



国際ロータリー第2650地区青少年交換委員会
副委員長 鈴木 賢司

- ローターリー青少年交換プログラムについて
- 2027 - 28年度交換学生の募集について
- クラブは何をするのか？

ロータリー青少年交換とは

- ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が、海外の家庭や学校で生活し、異文化を理解しながら、国際的な友情と世界市民としての意識を育むプログラムです。

- 2024 - 25年度

- 51の国 384の地区 4497のクラブが実施
- 7290名の学生が参加

(出典：Rotary Youth Exchange Annual Report 2024-25)

- 当地区では96クラブ中5クラブ 8名の学生が参加

ロータリー青少年交換でできること

- **自立する力**

自分で考え、行動し、困難に対応する

- **異文化を理解する力**

言語、文化、価値観の違いを学ぶ

- **国境を越えた友情**

海外に家族や友達をつくり、世界市民へと成長する

青少年交換でいろいろな可能性が広がります。

異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、世界の平和を少しずつ実現できるとロータリーは信じています。

交換の種類と期間

- **長期交換** 10か月から12カ月
長期交換では、複数のホストファミリー宅に滞在しながら、
現地の高校に通います。
(2650地区で実施)
- **短期交換** 数日間から2, 3カ月間
短期交換は、夏休みや春休みの期間中に行われます。多くの
場合ホストファミリー宅に滞在しますが、世界中の交換留学生
たちと合宿やツアーに参加することもあります。
(2650地区では、地区としては実施せず、クラブが海外姉妹クラブと実施する場合のみ地区がサポート)

学生の参加費用

- 参加費用
- ホストファミリーによる宿泊・食事の提供、学校への通学に必要な費用などは、原則として受入側のロータリーが手配します。
そのほかの費用は地区やクラブによって異なりますが、通常、以下の費用を学生が負担します。
- 往復航空券
- 旅行保険
- 旅券とビザにかかる費用
- 小遣い/追加の旅行やツアーに参加する場合の費用
- ※小遣いについては、毎月一定額をロータリーより支給。
(2650地区では毎月10,000円を支給)

学生の申請方法

- 詳しくは、募集要項の説明の時に話しますが、
- 交換学生となるにふさわしい地元の15～18歳の学生が対象です。
- 交換留学のチャンスをつかむには、2650地区では、地区が定めた応募方法に従って、その学生のスポンサークラブとなってもらえる地元のロータリークラブを経由して応募する必要があります。

ロータリー青少年交換の歴史

- 1920年代 地域、クラブごとの自主事業として、ヨーロッパのロータリアンやクラブが、子供たちを互いの家庭に滞在させる交流を始める。
- 1950～60年代
ヨーロッパだけでなく、アメリカ、オーストラリア、日本などで長期交換が急速に広がる
- 1975年 世界各地で実績を重ね、国際理解と友情を育むロータリーらしい活動として、RIの公式プログラムとなる。
- 2025年 RIの公式プログラムとなって50周年



RIの公式プログラムで あることの意味

RIの公式プログラムとはいっても、運営主体は地区とクラブです。
RI本部が交換を実施するわけではない。

RIは、

- ・基本方針
- ・保険・安全基準
- ・地区認定制度
- ・青少年保護方針

などを示し、実際の交換は、世界共通の理念の下で、各地区が責任をもって運営し実施する。

地区とクラブの役割分担

地区

- 青少年交換は地区間で実施
- プログラムの管理運営責任は地区にあり、ガバナーが監督責任者。
- プログラム全体の運営責任を負い、最終的な承認・不承認、交換の可否や相手地区との合意、危機管理、認定基準の遵守、クラブの支援などを担う。

クラブ

- その実施をクラブが担う。
- クラブがスポンサー、ホスト役となり、派遣する学生を募集、推薦し、受入学生のためにホストファミリー、学校などを用意し、日常的な支援を行う。

2027 - 28年度ロータリー青少年交換学生 の募集について

2027年7, 8月出発
(就学期間の目安 2027.9~2028.6)

海外で学び、活動するチャンス！

2027-28年度 ロータリー 青少年交換学生 募集要項

世界100カ国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、高校生が海外の高校に通い、ホームステイをし、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。



応募から準備、出発、帰国までのおおまかなスケジュール

年 度	日 程	スポンサークラブ (派遣学生)	ホストクラブ (受入学生(来日学生))
2026 - 2027年度	2026年 5月1日～9月30日 2026年 10月11日 (日) 2026年 11月～翌年5月 2027年 春～ 2027年 6月	交換学生募集期間 地区選考会・合格通知 研修(計6回)・申請書作成 派遣先正式決定・査証申請 例会への招待と紹介 壮行会	受入高校の決定 ホストファミリー等の選定
2027 - 2028年度	2027年 7月・8月 2028年 6月・7月	派遣先に向けて出発 ↑ 定期的な連絡 ↓ 問題発生時の 地区委員会との連携 日本に帰国	来日 ↑ 定期的な例会等への招待 ↓ 生活中的相談支援 カウンセラー 母国へ帰国
2028 - 2029年度	2028年 8月	帰国報告 帰国学生、ROTEXとして次 世代の支援	

派遣先・派遣期間

派遣先は、北米、中南米、ヨーロッパ、アジア、オセアニア各方面です。

派遣期間は、派遣先の地区によりますが約10か月から12ヶ月です。

但し、派遣先は地区青少年交換委員会で決定し、応募者は選ぶことはできません。

費用

- ・往復航空運賃、旅行保険料、旅券とビザにかかる費用・・・本人（保護者）負担

※ 派遣先地区の国際ロータリー基準を満たした指定の保険に加入します。

- ・ユニフォーム代（地区制定のブレザー）・・・本人（保護者）負担
- ・青少年交換計画参加手続費用（184,000円）・・・本人（保護者）負担
- ・派遣先での費用・・・学費（就学に要する費用）や日常生活に必要な食費、住居費などの負担は原則必要ありません。若干のお小遣いが、現地の地区委員会もしくは受入ロータリークラブより支給されます。ただし、現地の地区主催旅行などオプションの旅行費用は本人（保護者）負担です。

帰国後

青少年交換プログラム修了者として帰国報告などの活動をしていただきます。またROTEX(青少年交換プログラム修了者学友会)に加入し、青少年交換学生予定者の指導や、来日交換学生の相談役等の活動をしていただきます。

応募締切

2026年

9/30(水)

募集人員

10名（第2650地区（京都・奈良・滋賀・福井の4府県）内在住者）

応募資格

下記①から④のすべてに該当する者

- ① 2027年8月末の時点で高校在学学生（15才以上18才まで）で、学業成績は平均以上の者。
- ② 単なる語学習得もしくは修学(履修単位取得)が目的の留学ではないことを理解し、スポンサーロータリークラブの代表としての自覚を持ちながら、派遣される地域社会に柔軟に対応し、新しいことに挑戦する意欲を備えていること。
- ③ 国際ロータリー第2650地区内のスポンサーロータリークラブからの推薦を受けた者
- ④ 保護者と地区の指定した研修会等（日程は下記記載）にすべて参加できること。

応募方法 下記応募書類を推薦を受けようとするロータリークラブへ提出し、推薦を受けたスポンサーロータリークラブを通じて応募締切日までに地区ガバナー事務所に申込してください。ロータリークラブから推薦を受けるのには日数を要します。また推薦を受けれない場合もあります。応募にあたっては、推薦を受けようとする最寄りのロータリークラブにお早めにご連絡ください。

応募書類について

【応募についての説明】【受験願書】【選考試験問題A・B】【アレルギーアンケート】を下記URLもしくはQRコードよりダウンロードし、【応募についての説明】にしたがって必要書類を揃え、推薦を受けようとするロータリークラブにご提出ください。ダウンロードできない場合は下記までご連絡ください。

<https://rid2650.gr.jp/committee-dc021/> → 「各種資料ダウンロード」 → 「青少年交換 応募書類について」



スポンサーとなるロータリークラブからの正式な申込み後、地区選考会（学生本人・保護者、スポンサークラブ青少年交換責任者が対象）を行います。地区選考会は10/11（日）に京都市内の会場にて行います。詳細はスポンサークラブを通じて追ってご連絡いたします。選考会合格者は、派遣予定学生として保護者とともに、研修会、壮行会、地区大会の参加が義務づけられます。

研修会、壮行会、地区大会の予定日（2026年11/1, 12/13, 2027年1/17, 3/13-14（宿泊研修）, 4/4, 5/16, 6/20）、会場はすべて第2650地区内

地区選考会

2026年

10/11（日）

（京都市内て）

クラブは何をすべきか

まず最初にしてほしいこと①

- ・ 本日の内容をクラブで情報共有する。

今日の内容を例会で報告し、募集要項チラシを全会員に配布し、
青少年交換プログラムについて会員への周知を図る。

まず最初にしてほしいこと②

- ・もし応募学生が現れた場合に備え、クラブ内で参加可能性を確認する。
 - ・ **受入学生を支える予算（受入年度 学生1名につき平均約60万円）を確保できるか** ※学校、通学方法、クラブ行事等により異なります
 - ・ 通学可能な学校に受入れを相談できるか
 - ・ ホストファミリー候補者を探せるか
- ・ もし1クラブ単独では難しい場合、近隣のクラブと協力して行えないか検討する。

青少年交換計画 クラブ予算一例

収 入			
クラブ費		569,000	
地区補助金		120,000	10,000×12 ヶ月
合 計		689,000	
支 出			
受入関係			
	学生の小遣い	120,000	10,000×12 ヶ月
	通学費補助	36,000	3,000×12 ヶ月
	携帯代補助	36,000	
	地区会合出席交通費補助	18,000	3,000× 6 回
	クラブ例会出席費	36,000	3,000×12 回
	クラブ奉仕活動補助	16,000	4,000× 4 回
	教科書・教材費	20,000	
	制服・体操服代	60,000	
	修学旅行費	80,000	
	国民健康保険料	15,000	
	学校謝礼	100,000	
	小 計	537,000	
派遣関係			
	クラブ例会出席費	12,000	3,000× 4 回
	地区会合出席交通費補助	18,000	
	小 計	30,000	
委員会費			
	送迎費	36,000	6,000×3 人×2 回
	地区会合出席交通費	18,000	3,000×6 回
	地区会合参加費	22,000	
	通信・事務費・雑費	46,000	バナー代別
	小 計	122,000	
合 計		689,000	

まず最初にしてほしいこと②

- ・もし応募学生が現れた場合に備え、クラブ内で参加可能性を確認する。
 - ・受入学生を支える予算（受入年度 学生1名につき平均約60万円）を確保できるか ※学校、通学方法、クラブ行事等により異なります
 - ・ **通学可能な学校に受入れを相談できるか**
 - ・ホストファミリー候補者を探せるか
- ・もし1クラブ単独では難しい場合、近隣のクラブと協力して行えないか検討する。

長浜から大津の学校に通うことはOK!👏

ホストファミリー宅と学校が同一市町村である必要はありません。



長浜から大津の学校に通うことも可能です!

無理のない通学計画を、一緒に考えましょう。



まず最初にしてほしいこと②

- ・もし応募学生が現れた場合に備え、クラブ内で参加可能性を確認する。
 - ・受入学生を支える予算（受入年度 学生1名につき平均約60万円）を確保できるか ※学校、通学方法、クラブ行事等により異なります
 - ・通学可能な学校に受入れを相談できるか
 - ・**ホストファミリー候補者を探せるか**
- ・もし1クラブ単独では難しい場合、近隣のクラブと協力して行えないか検討する。



ロータリー青少年交換の ホストファミリーになりませんか。

海外のロータリークラブから派遣されて来る学生を家族の一員としてお宅に迎え入れる奉仕活動です。学生の年齢は15歳から19歳。期間はおおむね3か月程度です。世界中で毎年100か国以上の国々で6000人ほどの学生が海外に派遣されています。これに9000軒ほどのお宅がホストファミリーを引き受けている世界的な、大きなプログラムです。

日本には毎年約100人の学生がこのプログラムで来日しています。ホストファミリーを引き受けていただいている家庭の約半数がロータリークラブとの関係がない方々でこの奉仕活動の趣旨に賛同して引き受けてくださっています。

経験者の証言集

ホストファミリーになることによる負担は思ったより軽かった。3か月程度はそれほど長くないです。

外国人の子供と自分の娘や息子と同じように家庭で接することは決して難しい事ではなかったです。むしろそんな体験がとても貴重なものとしてとらえることが出来ました。

息子が他府県の大学に入學したことで部屋が空いたことと、下の息子が昨年、海外研修で東南アジアにホームステイしたことで異文化に興味を持ち始めたので、更なる一歩を踏み出す意味で応募しました。受け入れて本当によかったです。

娘が不登校で家に閉じこもりがちなので何かのきっかけと刺激になるかもしれないと思い、応募を決断しました。

うちの子供は海外留学には及び腰です。なぜなら今の友達関係が大切だから。そんな中でホストファミリーになることで日本に居ながらにして異文化体験ができたことは貴重な経験でした。

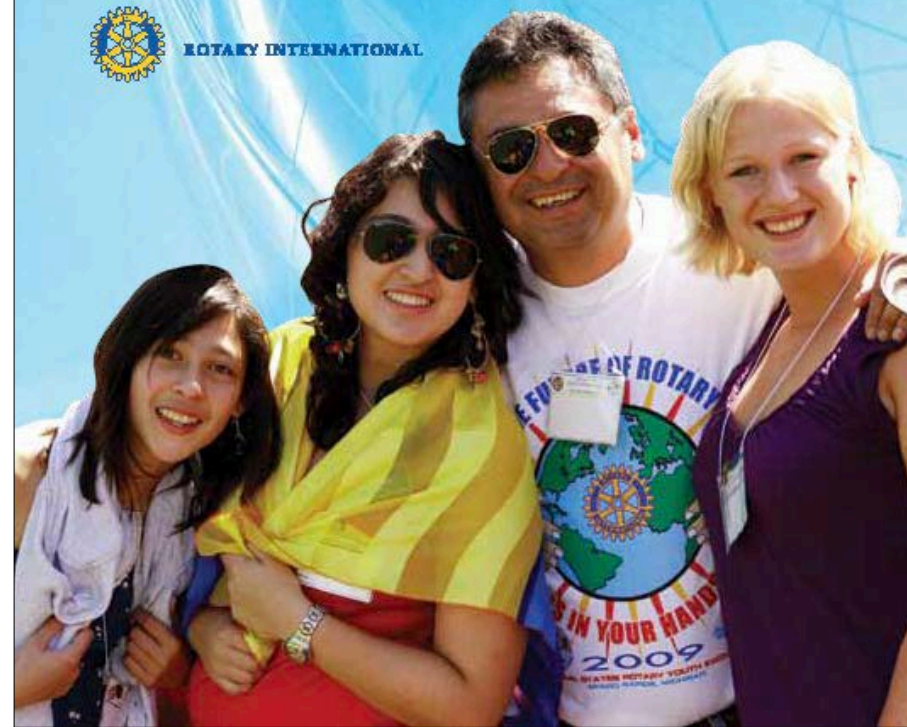
お問い合わせ



ホストファミリーの 手引き



ROTARY INTERNATIONAL



まず最初にしてほしいこと②

- ・もし応募学生が現れた場合に備え、クラブ内で参加可能性を確認する。
 - ・受入学生を支える予算（受入年度 学生1名につき平均約60万円）を確保できるか ※学校、通学方法、クラブ行事等により異なります
 - ・通学可能な学校に受入れを相談できるか
 - ・ホストファミリー候補者を探せるか
- ・もし1クラブ単独では難しい場合、近隣のクラブと協力して行えないか検討する。

まず最初にしてほしいこと③

- ・ 学生募集の方法や応募希望者が現れてきたときの対応する委員会や、窓口となる会員をクラブ内で決めておく。

募集方法の例

- イ、広報や地域情報誌、学校へ案内等により地域へ広く募集する
- ロ、会員を通じて会員の子や孫、知人へ募集する。
- ハ、地域の高校の協力を得て、校内で募集案内をしてもらい、候補者を推薦してもらう。
- ニ、インターアクトクラブ会員に募集を案内する。

地域に青少年交換の機会を 届けてください

- ・ 地元の学校へ募集要項を届ける。
- ・ 校長、国際交流担当の先生に説明する。
- ・ 会員や家族、知人へ広く周知する。
- ・ クラブのHPやSNSで紹介する。
- ・ ROTEXや過去の派遣学生に協力してもらう。
- ・ 関心のある学生と保護者へ説明の場を設ける。

知られていない青少年交換へ参加するチャンスを届けてください。

応募希望者が現れたら①

クラブがこのプログラムに参加できると判断した場合

- (1) 本人と保護者に制度を説明する。
- (2) 学生と保護者に面談する。
- (3) クラブとして推薦を理事会にて決定する。
推薦したクラブは、その学生が交換学生に選ばれた場合、
スポンサークラブとなると同時に、受入学生のホストクラブになる。

判断に迷う場合や不明な点は早めに地区委員会にご相談ください。

応募希望者が現れたら②

クラブがこのプログラムに参加できないと判断したときは、

- (1) 近隣のクラブと協力できないか
- (2) 近隣のクラブに代わりにスポンサーしてもらえないか
打診する。
- (3) 地区につなぐ。

クラブにお願いしたいこと (まとめ)

1 クラブ内で共有する

会長・幹事・会員に青少年交換を知ってもらう

2 参加の可能性を検討する

予算・学校・ホストファミリー・近隣クラブとの協力を確認する

3 地域へ機会を届ける

学校・会員・地域を通じて学生へ広く案内する

4 応募希望者を支える

本人・保護者と面談し推薦を理事会で決定する
クラブで実施が難しい場合も他クラブや地区へつなぐ

困ったときは、早めに地区委員会へご相談ください。

資料の入手先

- 地区ホームページの青少年交換委員会のページより
<https://rid2650.gr.jp/committee-dc021/>



→ 「各種資料ダウンロード」

応募書類、マニュアルブック、青少年交換の手引、
ホストファミリー募集チラシ等

→ 「リンク先」

ロータリー青少年交換（一般向け）のHPへのリンク
青少年交換（会員向け）のHPへのリンク

地域の若者に青少年交換の機会を



その成長を支える大きな柱が、ロータリークラブです。